

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		言語聴覚学科昼間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		心理測定法		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		2年生		学期及び曜時限	後期 木曜3限	教室名	4校舎301
担 当 教 員		遠藤 優太	実務経験と その関連資格	専門社会調査士			
《授業科目における学習内容》							
心理学やその関連領域で用いられる研究法や測定法を学ぶ。特に計量的測定によって得られたデータについて、データの種類に応じた分析手法、その目的と位置づけ、分析結果の読み取り方を具体的な事例や実際の研究例に基づいて理解できるようにする。							
《成績評価の方法と基準》							
別日に実施される期末試験で60％以上の得点をもって合格とする。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
教科書は特に指定しないが、以下を参考図書として紹介する。詳細は授業内で指示する。 市川伸一『心理測定法への招待』(サイエンス社)ISBN:9784781906102 神林博史・三輪哲『社会調査のための統計学』(技術評論社)ISBN:9784297141462							
《授業外における学習方法》							
配布資料や参考図書を確認しながら授業内容について復習し、課題に取り組むことが求められる。国家試験の過去問題も適宜、参照すること。							
《履修に当たっての留意点》							
前期に開講される統計学の内容を理解していることが望ましいが、必須ではない。授業内容は受講者の理解度に応じて変更することがある。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学的研究法の歴史と意義を理解できるようになる			配布資料	参考図書の該当箇所を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	イントロダクション:心理学の歴史と心理測定				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	観察法、実験法、調査法といった心理学の研究法の違いを説明できるようになる			配布資料	参考図書の該当箇所を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	心理学的研究法の種類と特徴				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神物理学的測定法、検査法、尺度構成法について理解する			配布資料	参考図書の該当箇所を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	心理学的測定法の種類と特徴				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学的概念と尺度の関係、および信頼性・妥当性について説明できるようになる			配布資料	参考図書の該当箇所を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	信頼性と妥当性				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	変数の種類と尺度水準を区別できるようになる			配布資料	参考図書の該当箇所を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	尺度水準と分析法の位置づけ				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	統計学における記述統計と推測統計、および仮説検定の仕組みを説明できるようになる	配布資料	参考図書の該当箇所を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	記述統計と推測統計		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	カイ二乗検定について理解し、クロス表から変数どうしの関連を読みとれるようになる	配布資料	参考図書の該当箇所を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	クロス表		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	t検定について理解できるようになる	配布資料	参考図書の該当箇所を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	平均値の検定:2群の平均値の比較		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	分散分析(一元配置、二元配置)について理解し、結果を読みとれるようになる	配布資料	参考図書の該当箇所を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	分散分析:3群以上の平均値の比較		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	関連、相関、因果、媒介関係について説明できるようになる	配布資料	参考図書の該当箇所を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	相関と因果		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	回帰分析の基本的な発想を理解できるようになる	配布資料	参考図書の該当箇所を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	回帰分析の基礎		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	重回帰分析について理解し、結果を読みとれるようになる	配布資料	参考図書の該当箇所を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	回帰分析の応用		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	パス解析・因子分析・主成分分析・構造方程式モデリングの基本を理解できるようになる	配布資料	参考図書の該当箇所を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	発展的分析手法の紹介		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	講義内容に関する問題が解けるようになる	配布資料	これまでの配布資料や参考図書に目を通す
		各コマにおける授業予定	復習試験		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	講義内容を理解したうえで国家試験の問題が解けるようになる	配布資料	講義内容と試験内容を振り返る
		各コマにおける授業予定	復習試験の解説・フィードバック		